

令和6年度 林野庁委託事業

新技術を活かした森林作業システム高度技能者育成研修のうち

育成研修（集材機研修）のご案内

1. 研修の目的

本研修は、**安全で効率的な架線集材を実施することができる高度技能者（高度架線技能者）の育成**を目的とした研修で、現場作業の指揮を取る林業架線作業主任者を対象としています。

高度技能者とは、森林施業の効率化を提案できる高度で専門的な知識と技術を有する者を言います。

2. 研修の内容

- ◆ 安衛則等の法令や力学に基づいた安全作業の知識
- ◆ 生産性を左右する、効率的な架線計画の知識
- ◆ ワイヤロープ加工や支柱作設作業の知識
- ◆ ICT等先端技術の活用に向けた知識
- ◆ 現場で作業を指揮するためのリーダーシップの醸成 等

受講料は無料、研修教材（右図教材）を**無料で配布**



お問い合わせはこちら

 一般社団法人 **日本森林技術協会**
Japan Forest Technology Association

〒102-0085
東京都千代田区六番町7
専用HP:<http://www.f-survey.jp>

電話：03-3261-5497 e-mail：ginouikusei@jafta.or.jp

研修の実施・受講等の手続き・案内については、**ホームページをご覧ください**

3. 受講生の参加資格

- 高度な架線技術に必要な技能を習得しようとしている者
- 林業架線作業主任者免許を有している者
- 林業架線作業の経験者（ワイヤロープ加工を含む）
- 労働災害補償保険の適用を受けている者（個人事業主は問わない）

4. 研修のカリキュラム



架線集材の熟練技能者を講師に、現地実習を主体としたカリキュラム



架線計画



支柱作設



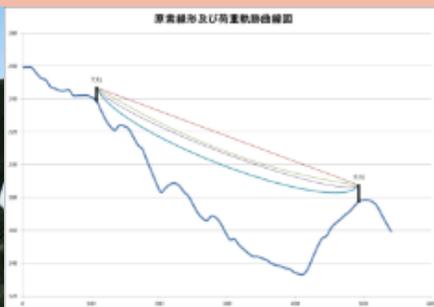
現場見学



ワイヤ加工

【設計計算・生産性検討】

架線シミュレーション等による架線計画結果を基に、設計計算や生産性把握の考え方を習得できます。



5. 研修修了者からの声

- 室内会場で講義を受けてから実際に現場で確認することで、理解が深まった。
- 架線計画をシミュレーションすることで数値が目に見えてよく理解できた。
- 作業準備の重要性、基本の大切さ等を学ぶことにより応用もでき、多くを学べた。
- ワイヤロープの強度や支柱にかかる張力を理解することは安全作業につながると思った。
- 他の現場を見学に行く機会がないので良い経験になった。
- スリングと台付ロープの違いがよく分かり、半差しの方法を正確に覚えることができた。